

第8回 UNI-Apro 東アジア労組フォーラム、
第5回 UNI世界金融部会大会に参加

国際労働運動への参画を通じ、

世界の働く仲間と幅広いテーマで課題認識や解決の方向性を共有！

生保労連は国内外の働く仲間とのネットワーク強化の一環としてUNI*を通じた国際交流を行っており、2019年10月16日～17日に韓国・ソウルで開催された第8回UNI-Apro 東アジア労組フォーラム、2019年10月23日～24日にスペイン・トレモリノスで開催された第5回UNI世界金融部会大会に、それぞれ代表者が参加しました。

第8回UNI-Apro 東アジア労組フォーラム

本フォーラムには、日本、韓国、台湾、モンゴルの労働組合から約160名(日本からは9組織・43名)の働く仲間が参集し、生保労連からは本部役員、組合代表者の計4名が参加しました。

フォーラムでは、「労働の未来、決めるのは私達」をスローガンに、「労働時間短縮とワーク・ライフ・バランス」「プラットフォーム労働者およびIT部門の組織化」「ジェンダー平等」等のテーマに沿って課題やその解決策について共有しました。「ジェンダー平等」のテーマでは、日本参加者を代表して、山本副委員長が「男女が共に活躍できる職場・社会の実現に向けて」と題し、生保労連の男女共同参画の取組みを紹介しました。

その他、2つの講演(テーマはそれぞれ「雇用可能性を高めるためのスキル開発と良質な仕事」「デジタル時代、仕事の未来と労働の対応」)では、第4次産業革命を迎える中で想定される課題やその解決の方向性等について共有しました。

また、日本と韓国の金融関係参加者との間で個別に情報交換の機会を設け、各国の金融産業における労働実態やデジタル化の現状・課題認識等について、お互いに報告するとともに活発な意見交換を行いました。



▲男女共同参画の取組みを発表する山本副委員長



▲東アジア労組フォーラムの参加者

第5回UNI世界金融部会大会

本大会には、66ヶ国から約400名(日本からは6組織・12名)の金融産業で働く世界の仲間が参集し、生保労連からは本部役員、組合代表者の計2名が参加しました。

大会では、「STRONG UNION-TODAY AND TOMORROW」をスローガンに、4つのセッションでテーマを分け、各地域(アジア太平洋・欧州・米州・アフリカ)または各国の実情を踏まえた具体的な取組み状況について発表・議論し、課題やその解決の方向性等を共有しました。各セッションでは、傍聴フロアの参加者からの発言機会が設けられ、生保労連からはセッション「持続可能な経済のための労働組合」の中で、小山副書記長より「人への投資」に関する取組みについて報告を行い、産業の健全で持続的な発展の原動力は「人」である点について理解を求めました。



▲「人への投資」の取組みについて発言する小山副書記長

また、日本参加者とUNI本部(スイス)の金融部会メンバーとの間で個別に情報交換の機会を設け、主に欧州での労働組合活動の現状や労働界をめぐる動向等について報告を受けるとともに、金融産業の現状、労働者の権利(ワーク・ライフ・バランス等)、デジタル化がもたらす課題(データ保護等)等をテーマに活発な意見交換を行いました。



▲世界金融部会大会の参加者

※UNI(ユニオン・ネットワーク・インターナショナル)

世界150ヶ国の商業、流通、情報、金融等、サービス産業の約900労働組合が加盟する国際産業別労働組合。組合員数は約2,000万人。日本が加盟するUNI Apro(アジア太平洋地域組織)、UNI Europa(欧州地域組織)、UNI Americas(米州地域組織)、UNI Africa(アフリカ地域組織)の4地域から構成。